

島での仕事興味津々

22
13
20
9
県内外の学生 インターンシップ

佐渡で働く魅力を知ってもらおうと、県内外の学生を対象としたインターンシップ（就業体験）が3泊4日の日程で行われた。学生が島内の企業を訪ね、島で働く利点や課題、地域活性化について学んだ。

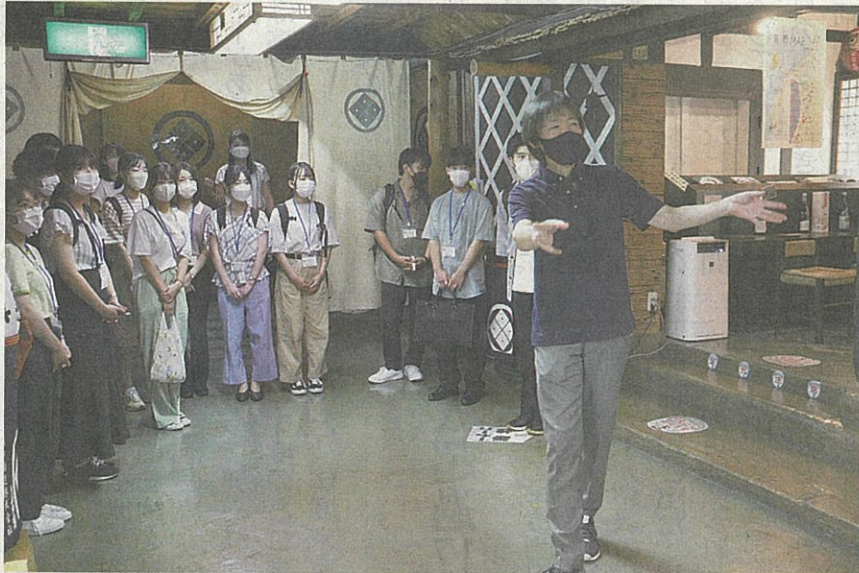
市が2021年から主催している。今年は複数の企業や団体を見学する「さどライフ&ワーク型」（5、8日）、一つの企業で実習を行う「二社集中型」（13、16日実施予定）の2コースに、県内の大学を中心に約40人の応募があった。

5日からの体験では、16人の学生が製造業や福祉団体などを訪問し、社員らから業務内容や苦労話、地域貢献活動に関する説明を受けた。尾畑酒造（真野新町）では、同社が廃校を借り受け運営している「学校蔵」（西三川）を見学し、企業

と地域が連携して酒造りをする仕組みを学んだ。

最終日の8日には、4グループに分かれて成果発表を行った。「佐渡は補助金が豊富で起業しやすい」と

島内の企業同士が連携できるのではないかと、さまざまな意見が上がった。
新潟大2年の土屋琴己さん（20）は「佐渡には多才な人が多いと思った。自分は理系だが文系にも興味がある。両方することもできるのだ、と気付けた」と話した。



尾畑酒造で酒造りと地域活性化について学ぶ学生たち＝佐渡市真野新町